

《名画の扉》

大川美術館「小さな特集展示：
ねこのいる部屋」から



「猫電気A」

1951年、油彩・カンバス
72・7センチ×90・9センチ（大川美術館蔵）

伊藤久二郎（1906～77年）

ネコは現在に至るま
で身近な動物として人
々に愛玩され、また多
くの画家をも魅了して
きました。企画展と特
集展示と同時開催の小
さな特集展示では、当
館コレクションからネ
コの作品を集め、画家
が捉えた多様な表情を
見せるネコの魅力をご
覧いただきます。

伊藤久二郎は作風に
おいて戦前のシュール
レアリスムの傾向から
戦後の抽象的構成へと
展開していきますが、
個々の作品は様式やイ
ズムに凝り固まること
なく、个性的でみずみ
ずしい独自の表現とし
て結実しています。夢
や現実の私的なイメー
ジから出発する伊藤の
画面は、丁寧に紡ぎ出
されて、簡潔な造形と
画面構成の中で明晰
（めいせき）で知的な絵
画空間が生み出されて
いきます。

（大谷）